

<No7：基準点測量>

公共測量におけるトータルステーションを用いた1級基準点測量において、図7に示すように、既知点Aと新点Bとの間の距離及び高低角の観測を行い、表7の観測結果を得た。Dを斜距離、 α_A を既知点Aから新点B方向の高低角、 α_B を新点Bから既知点A方向の高低角、 i_A 、 f_A を既知点Aの器械高及び目標高、 i_B 、 f_B を新点Bの器械高及び目標高とすると、新点Bの標高は幾らか。最も近いものを次の中から選べ。

ただし、既知点Aの標高は10.00mとし、Dは気象補正等必要な補正が既に行われているものとする。

なお、関数の値が必要な場合は、巻末の関数表を使用すること。

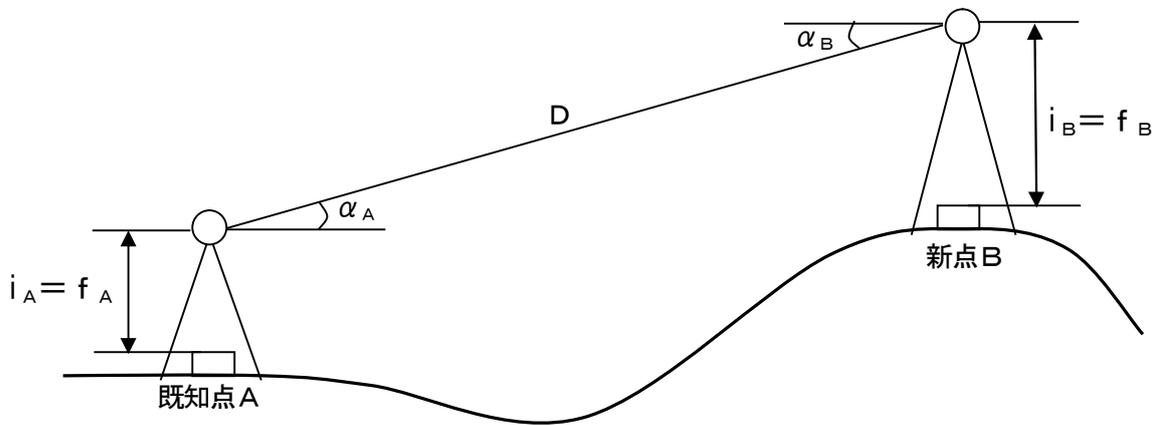


図7

表7

α_A	11° 00' 05"
α_B	-10° 59' 55"
D	1,000.00m
i_A, f_A	1.500m
i_B, f_B	1.600m

1. 190.71m
2. 190.81m
3. 200.71m
4. 200.81m
5. 204.28m